



猪名川鼓滝橋りょうを走る能勢電車

市と共に歴史を歩んできた能勢電鉄。能勢妙見宮への参詣者の輸送と、能勢の産物である三白（酒、米、寒天）、三黒（黒牛、栗、炭）の運搬を主目的として、明治38年設立申請され、大正2年に能勢電気軌道が開通しました。開通時は、「能勢口」から「一の鳥居」までの7駅でしたが、大正12年11月に延長工事が完了し、「妙見」まで13.3kmの全線が開通しました。

市制施行60年へ

川西のまちは、長い歴史を歩んできました。あの日、あの頃、どんな様子だったのか——その姿を少しだけひも解いてみました。詳しくは魅力創造課 ☎(740) 1121 へ。

源氏まつり

今年50回目を迎える源氏まつりは、昭和31年に多田神社のまつりとして始まり、39年から市と市観光協会共催の観光まつりとして行われるようになりました。源氏まつりに改名したのは20回目のこと。清和源氏の祖、源満仲公の遺徳をしのび、「清和源氏発祥の地川西」の歴史、文化、観光をPRする祭りとして多くの人に親しまれています。



デザインのワンポイントに60周年のロゴマークを使ってみませんか。詳しくは市ホームページへ。

第50回源氏まつり ゲストは照英さん 武者姿で練り歩く参加者募集中

今年は第50回を記念して、4月13日(日)に阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅周辺で開かれる源氏まつり懐古行列。源頼朝、源義経、足利尊氏役などで参加する一般武者を再募集しています。対象は18歳以上の男性。参加料は3万円です。また、少年・少女武者役で参加する小学3～6年生の児童も追加募集します。参加料は無料。申し込み方法や期限など、詳しくは観光・スポーツ振興課 ☎(740) 1161 へ。



プロフィール 埼玉県鴻巣市出身。星獣戦隊ギンガマンのギンブルー役で俳優デビュー。現在は、ドラマやバラエティーなどで幅広く活躍中。

「60周年エピソード かわにし小さな幸せものがたり」を募集します

市での思い出を振り返って、何気ない日常の温かさや、人とのつながり、心がキュンとした瞬間など、幸せを感じるエピソードを募集します。

対象は市出身・在住・在勤・在学者、または市に関わりがある人。字数は400字以内。住所、氏名、電話番号、年齢を書き、3月28日(金)までにメールで魅力創造課 (kawa0204@city.kawanishi.lg.jp) へ送信を(市ホームページの問い合わせフォームからも可)。応募されたエピソードは、市ホームページに掲載します。なお、抽選で3人に「ふるさとづくり寄附金記念品カタログ」の中から好きな1品をプレゼントします。詳しくは同課 ☎(740) 1121 へ。



阪神地区都市対抗駅伝競争大会で上位入賞

1月12日、市東久代運動公園・猪名川河川敷コースで

晴れやかな青空の下、中学生から社会人まで幅広く選抜された、阪神7市1町の代表285人が出場。川西市は女子チームが2位、男子チームが3位に見事入賞しました。



菊炭の初窯出しは里山の冬の風物詩

2月2日、市北部の黒川地区で

同地区は原材料となる良質のクヌギが入手しやすいことから、室町時代頃から炭焼きが盛んに行われています。炭焼き農家を営む西勝さん方では、早朝から炭の擦れる音がこだましていました。



緑化を広める花と緑のコンクールで表彰

1月28日、市役所での場理事長から受賞

「一輪の花から緑のまちへ」と市緑化協会が毎年開催しているもので、写真による審査で受賞者を決定。受賞した皆さんは花や木を大切にすることを強くしていました。



安全の確保に尽力 市民の警察官表彰

1月29日、市役所で大塩市長から受賞

市民の安全で安心なまちづくりに日夜尽力したとして、川西警察署の宮木智春巡査部長と岸田知之巡査部長の2人に「市民の警察官章」が贈られました。



ひな飾りの前で子どもたちが伝統の舞を

2月1日、郷土館で

ひな飾りの前で、子ども日本舞踊教室さくらの会の子どもたちが日本舞踊を披露しました。同館では桃の節句を前に毎年ひな人形展を開催。大正期の内裏雛などが4月4日まで展示されています。



未来を漢字一文字の受賞者に記念品を

1月30日、市役所で

165人が応募し、川西市の未来を漢字(感じる)一文字に選ばれた「幸」。抽選で選ばれた鈴木さんに、市出身でドイツバイエルン国立歌劇場専属歌手の中村さんが揮毫した色紙などが贈られました。

市政

求人・募集

案内・催し

セミナー

発表・鑑賞

公民館

福祉・健康

相談

子育て

ア・ラ・カルト

まちの話題

